

令和7年度の研究(または活動)内容

2025年度は、主に3つの調査・研究活動を行なった。

(1) 農村景観の調査

・世界農業遺産「大崎耕土」の屋敷林の魅力発信に関する業務

世界農業遺産「大崎耕土」における屋敷林について、生物多様性の担保の観点から調査を行い、その成果として「大崎耕土「居久根」保全マニュアル」を作成した。その上で、これらの活用を目的に屋敷林の魅力発信のためのイベント企画の設計・設営・運営補助の業務を行なった。

(2) 都市景観の調査

・旧街道沿いの町並みの構成要素とその変容に関する調査

仙台市長町にて都市景観の調査活動を行った。これらの成果は、太白区との共同講座及びその成果報告の場で情報公開共有を行い、地域への公開還元活動も進んでいる。なお、これらの調査活動をまとめたまた、これらの一連の活動は、昨年度完成した大型の街並み模型制作業務の受注にもつながり、その成果物は高評価を得ることとなった。

・旧城下町の歴史的建造物の調査と町並みの変遷の考察

白石市にて歴史的町並み景観の調査活動を行った。これらの成果は、白石市での研究報告会を開催したこと、新たな民家調査物件との出会いなど、地域との関わりを増やす機会となった。